建築設計演習 \ I(Architectural Design I)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
土木建築	選択	4 年前	1	演習	古田健一 西尾幸一郎

【授業の概要】
木造建築の構造を理解した設計ができる技術を、施工に必要な図面を作成する演習を通して修得させる。

【授業の進め方】
間取りと外観だけがデザインされた住宅の構造に関する図面を資料をもとに製図する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内　容】
1 回	課題説明	与えられる情報：２階建て木造住宅の間取りが分かるだけの平面図（1 ／ 100）と立面図（1 ／ 100）。
2 回	１階平面詳細図（1 ／ 50) ①	柱の位置を決めチェックを受けてから作図開始
3 回	１階平面詳細図（1 ／ 50) ②	真壁、大壁の書き分け
4 回	１階平面詳細図（1 ／ 50) ③	建具の書き方チェック
5 回	２階平面詳細図（1 ／ 50）④	階段の書き方チェック
6 回	２階平面詳細図（1 ／ 50）⑤	掃きだし窓、中連窓の書き分けチェック
7 回	２階平面詳細図（1 ／ 50）⑥	雨戸、ベランダの描き方チェック
8 回	伏せ図解説	講義
9 回	基礎伏せ図（1 ／ 100）	演習
10 回	１階床伏せ図（1 ／ 100）	演習
11 回	２階床伏せ図（1 ／ 100）	演習
12 回	１階小屋伏せ図（1 ／ 100）	演習
13 回	２階小屋伏せ図（1 ／ 100）	演習
14 回	壁量計算講義	木造２階建ての壁量計算方法を講義
15 回	壁量計算演習	演習問題 夏季課題提示（提出される課題を建築設計演習 II で使用）

【到達目標】	木造住宅の一式図面として、そのまま施工できる水準の図面に仕上げることを目標とする。		
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【ＪＡＢＥＥ基準 1(1)】	d-2a
【評価法】	減点方式で採点する。構造上の誤り（梁がかけられない、床が落ちる等）は１ケ所につき１０点、材料の断面積の不足は１ケ所に５点、作図表現のミスは１ケ所につき３点、記入の誤字脱字は１ケ所につき２点を減点すことを標準とする。		
【テキスト】	建築設計製図（実教出版）		
【関連科目】	建築一般構造 (3 年)、建築設計演習 II(建築系 4 年)		
【成績欄】	前期中間試験 【　　】	前期末試験 【　　】	前期成績 【　　】
	後期中間試験 【　　】	後期末試験 【　　】	学年末成績 【　　】